

知っているかな? SDGs 17

貧困をなくそう



みんなを貧しさから救おう

世界には、1日1.9ドル(約200円)以下で生活する人たちが約8億人います。そのような人たちは、ご飯は家族と少しずつ分けて食べ、病気になっても薬を買えません。洋服はボロボロになるまで着ます。小学生くらいになると家族を助ける手伝いをし、市場で野菜などを売って家計を支えることもあります。どこに生まれても、夢や希望をもてる世界にしたいですね。

考えたことや調べたことを書こう。

飢餓をゼロに



おなかをすかせた人をなくそう

飢餓とは、食べ物や水が足りず、とてもおなかをすかせている状態のことです。1日2日のことではありません。ずっとおなかへっているのです。貧しいから、災害にあったから、戦争が起こったから、など原因はいろいろあります。わずかでも食べ物が手に入ったら、1人分は少なくとも、みんなで分けます。分かち合うということを考えてみたいですね。

考えたことや調べたことを書こう。

すべての人に健康と福祉を



みんなを健康にしよう

世界では、5歳未満の子どものが5.6秒に1人のペースで死亡しているといわれます。予防接種ができず、病院に行けない地域が多くあります。また医療的に進んでいる先進国にも、健康な生活を送れない人たちがいます。空気がよごれている、ドラッグを使用している、気持ちがしづんでいるなどの理由があります。健康面で困っている人たちの気持ちを想像して行動してみましょう。

考えたことや調べたことを書こう。

2030年、あなたは何をしているでしょう?

明るい未来になるように、2030年までに世界が達成すべき17の目標です。

質の高い教育をみんなに



みんながよい教育を受けられるようにしましょう

世界では約5900万人もの子どもたちが、小学校にも通えません。そもそも学校が整備されていなかったり、家族を助けるために働かなければならなかったり、理由はさまざまです。学校に行けず、読み書きができないまま大人になると、賃金の高い仕事につくことができません。これでは貧しさからぬけ出すことができません。

考えたことや調べたことを書こう。

ジェンダー平等を実現しよう



性別による差別や不平等をなくそう

世界では、女の子が学校に行かせてもらえなかったり、家族の持ち物のようにあつかわれ、幼いうちに結婚させられたりする地域があります。また日本でも、女の人が男の人と同じように働いても同じ賃金がもらえない、指導的な地位につけないなど、男女の不平等は深刻です。世界男女格差指数*では、日本は世界153か国中、121位**と低い状態です。

考えたことや調べたことを書こう。

*ジェンダー・ギャップ指数ともいう。 **2020年「世界経済フォーラム」発表。

安全な水とトイレを世界中に



安全できれいな水とトイレをみんなが使えるように

水は毎日の生活に欠かせませんが、世界の3人に1人が安全な水を使えず、5人に2人はトイレがなくて屋外で用を足しています。不衛生なため病気になったり、命を落としたりする人もいます。松山市でも梅雨の時期に十分な雨が降らないことで水不足になり、1日に数時間しか水道水が使えなくなったこともあります。

考えたことや調べたことを書こう。

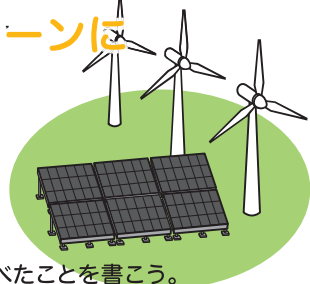


日本ユニセフ協会





エネルギーをみんなに そしてクリーンに



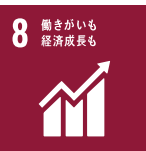
石油や石炭から、太陽光や風力・地熱へ

世界で電気が使えない人は、約 8 億 4000 万人！
暗くなると本も読めないし、街灯のない道は危険です。
病気を予防するワクチンも保管できません。

電気が使える日本では、二酸化炭素をたくさん排出する火力発電の代わりに、地球にやさしい再生可能な自然エネルギー、つまり、太陽光や風力、地熱、バイオマスなどによる発電にかえていく努力が必要です。

考えたことや調べたことを書こう。

働きがいも経済成長も



安全な環境で働き、差別のない賃金を

開発途上国では、5～17歳の子どもの、4人に1人が働いています。児童労働がなくなるのはなぜでしょう。

男の人も女の人も、若い人も障がいがある人も、同じ仕事に対して同じ賃金がもらえるべきです。すべての人が安全で安心できる環境で、やりがいや生きがいを持ち、自分に合った仕事ができるといいですね。

考えたことや調べたことを書こう。

産業と技術革新の基盤をつくろう



新しい産業にもチャレンジを！

世界でインターネットが使えない人は、約 36 億人！
だれもが公平に安く使えるしくみや、災害にも強く持続可能なしくみが必要です。道やダム、発電所や病院、学校や公園などの設備も整えなくてはなりません。だれも取り残さないために、開発途上国の人たちといっしょに、農業・漁業・林業をふくむ新しい産業を考えてチャレンジするのもいいですね。

考えたことや調べたことを書こう。

調べてみよう

キーワード「再生可能エネルギー」「省エネ」→資源エネルギー庁キッズページ：
<https://www.enecho.meti.go.jp/about/kids/>

ほかにも調べよう

「ソーラーシェアリング」「ソーラーキッチン」(目標7) / 「児童労働」「ディーセントワーク」「失業者」(目標8) / 「新しい産業」「イノベーション」「技術革新」(目標9)

人や国の不平等をなくそう



不平等なあつかいは、弱い立場にある人に起こる

世の中にはたくさんの不平等があります。私たちの身の回りにも不平等がありますが、不平等は、年齢、性別、障がい、人種、貧困などを理由に、弱い立場にある人に起こります。不平等をなくすには、不平等なあつかいを受けている人たちが、学校に行けて、働けて、病院に行けるように、みんなで支援するしくみづくりが大事です。

考えたことや調べたことを書こう。

住み続けられるまちづくりを



松山市は2020年にSDGs未来都市に選出

日本でも世界でも、地震や台風、洪水などで、毎年多くの人が命を落としたり、住むところを失ったりしています。みんなが安全で暮らしやすいまちにするために、ふだんから地域の人とあいさつを交わし、清掃活動やお祭りに参加して、親しくなしましょう。そして自分たちのまちをもっとよくする方法を、みんなで話し合うことが必要です。

考えたことや調べたことを書こう。

つくる責任つかう責任



世界でつくられる食料の3分の1は廃棄されている

私たちは、たくさんの資源やエネルギーを使って多くのものを生産しています。大量生産・大量消費で有名なものが食べものです。日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が、とても多くなっています。買い物をするときや給食を食べるときなど、身近なところから、消費者としてできることを考えてみましょう。

考えたことや調べたことを書こう。

調べてみよう

キーワード「エシカル」「おもいやり消費」→おもいやり消費：
https://www.youtube.com/watch?v=SldCy9T_Vpc&feature=youtu.be

